

1. 科目名 (単位数)	子育て支援特論 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP5315
2. 授業担当教員	堀 聡子		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	1年次以上	履修形態 (通信教育)	R
7. 講義概要	子どもの発達の基盤を支えるために、就労と育児の両立支援の推進、在宅子育て家庭への支援の充実、子育て支援情報の提供、子どもの環境づくりなど子育て支援の状況と今後のあり方について、現在の子どもを取り巻く社会状況と関連させながら分析・研究する能力を養う。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの健やかな発達を促進する条件を理解する。</li> <li>2. 現代の子育て状況の問題点を理解する。</li> <li>3. 親への援助の方法を理解する。</li> <li>4. 家庭、幼稚園・保育所、地域における子育て支援の実際について理解する。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	2回のレポートを課す予定である。レポート課題については、授業内で提示する。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 特に指定しない。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援プロジェクト研究会編『子育て支援の理論と実践』ミネルヴァ書房、2013.</li> <li>・松本園子・永田陽子・福川須美・堀口美智子『実践 家庭支援論 [第3版]』ななみ書房、2017.</li> <li>・矢澤澄子・国広陽子・天童睦子『都市環境と子育て』勁草書房、2003.</li> <li>・大日向雅美『子育て支援が母親をダメにするなんて言わせない』岩波書店、2005.</li> <li>・大豆生田啓友『支え合い、育ち合いの子育て支援-保育所・幼稚園・ひろば型支援施設における子育て支援実践論』関東学院大学出版会、2006.</li> <li>・相馬直子・松木洋人編『子育て支援を労働として考える』勁草書房、2020.</li> </ul>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>子どもの発達を促進する、子育て状況の課題、親への援助の方法、子育て支援の方法について理解し、その基盤となる、子どもの理解、保育者のあり方として豊富な関係体験と認識、洞察、実践力の育ちが実現できていること。</p> <p>○評定の方法</p> <p>【通学課程】・授業内での発表や発言 50%、レポート 50%</p> <p>【通信教育課程】・レポート課題 (第1レポート 30%、第2レポート 30%、第3レポート 40%)</p>		
12. 受講生へのメッセージ	報道でもしばしば取り上げられている今日的な課題であるので、広く関心をもって、日頃から情報収集を心がけて下さい。積極的な態度で授業に取り組むことを期待します。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	子育て支援とは		
【学習の目標】	子育て支援の理念、目的と子育て支援の研究動向を把握する。		
【学習の内容】	子育て支援とは何か、子育て支援は何のためかを確認したうえで、子育て支援の研究動向を整理する。		
【キーワード】	子育て支援		
【学習の課題】	子育て支援とは何か、また子育て支援の多様性を理解するとともに、近年の研究動向を学ぶ。		
【参考文献】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援プロジェクト研究会編『子育て支援の理論と実践』ミネルヴァ書房、2013.</li> <li>・大豆生田啓友・太田光洋・森上史朗編『よくわかる子育て支援・家族援助論』ミネルヴァ書房、2008.</li> <li>・大豆生田啓友『支え合い、育ち合いの子育て支援-保育所・幼稚園・ひろば型支援施設における子育て支援実践論』関東学院大学出版会、2006.</li> </ul>		
2. テーマ	子育て支援の歴史的諸相		
【学習の目標】	子育てや子育て支援のあり方がどのように変化してきたかを学ぶ。		
【学習の内容】	農業社会における子育て、産業社会 (近代社会) における子育て、少子化社会における子育てと支援を理解する。		
【キーワード】	農業社会、産業社会、家族の近代化、子育て不安		
【学習の課題】	時代状況による子育てや子育て支援のあり方の変化を理解し、それぞれの社会の特徴を掴む。		
【参考文献】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援プロジェクト研究会編『子育て支援の理論と実践』ミネルヴァ書房、2013.</li> <li>・有賀美和子・篠目清美・東京女子大学女性学研究所編『親子関係のゆくえ』勁草書房、2004.</li> </ul>		
3. テーマ	現代の子育て環境		
【学習の目標】	社会の変化に伴う子育て環境の変化を理解する。		
【学習の内容】	都市化の進行、少子化の進行、情報化・消費化の進行、雇用の不安定化などの現代社会の状況を把握したうえで、現代の子育て困難について理解を深める。		
【キーワード】	都市化、少子化、子育て困難、3歳児神話		
【学習の課題】	子育て困難な現代の状況を社会背景と合わせて理解する。		
【参考文献】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松本園子・永田陽子・福川須美・堀口美智子『実践 家庭支援論 [第3版]』ななみ書房、2017.</li> <li>・矢澤澄子・国広陽子・天童睦子『都市環境と子育て』勁草書房、2003.</li> <li>・大日向雅美『子育て支援が母親をダメにするなんて言わせない』岩波書店、2005.</li> <li>・筒井淳也『仕事と家族-日本はなぜ働きづらく、産みにくいのか』中央公論新社、2015.</li> </ul>		

4. テーマ	家族の変容と子育て意識の変化
【学習の目標】	家族の変容と子育て意識の変化について理解する。
【学習の内容】	家族の多様化、ライフコースの変容、子育て意識の変化、男女共同参画社会への国際的潮流など近年の家族・子育てを取り巻く状況を学ぶ。
【キーワード】	家族の多様化、ライフコースの変容
【学習の課題】	家族が多様化し、子育て意識が変化している現代社会の状況を理解する。
【参考文献】	・松本園子・永田陽子・福川須美・堀口美智子『実践 家庭支援論 [第3版]』ななみ書房、2017。 ・岩間暁子・大和礼子・田間泰子『問いからはじめる家族社会学-多様化する家族の包摂に向けて』有斐閣、2015。
5. テーマ	子育て支援政策の動向
【学習の目標】	子育て支援政策の動向を理解する。
【学習の内容】	日本の子育て支援政策の展開過程と近年の政策動向を理解し、日本の子育て支援政策の特徴を学ぶ。
【キーワード】	子育て支援政策、少子化対策
【学習の課題】	日本における子育て支援政策が少子化対策として進展してきたプロセスを考える。
【参考文献】	・松本園子・永田陽子・福川須美・堀口美智子『実践 家庭支援論 [第3版]』ななみ書房、2017 ・相馬直子「子育て支援と家族政策」庄司洋子編『親密性の福祉社会学-ケアが織りなす関係』東京大学出版会、2013。 ・内閣府『令和元年度版 少子化社会対策白書』2019。
6. テーマ	幼稚園における子育て支援
【学習の目標】	幼稚園における子育て支援について理解する。
【学習の内容】	幼稚園に求められる子育て支援、地域の子育てセンターとしての機能等について学ぶ。
【キーワード】	幼稚園の機能、預かり保育、子育ての学びの場
【学習の課題】	幼稚園に求められる子育て支援を学ぶとともに、子育ての学びの場としての機能について考える。
【参考文献】	・大豆生田啓友『支え合い、育ち合いの子育て支援-保育所・幼稚園・ひろば型支援施設における子育て支援実践論』関東学院大学出版会、2006。 ・大豆生田啓友・太田光洋・森上史朗編『よくわかる子育て支援・家族援助論』ミネルヴァ書房、2008。 ・子育て支援プロジェクト研究会編『子育て支援の理論と実践』ミネルヴァ書房、2013。
7. テーマ	保育所における子育て支援
【学習の目標】	保育所における子育て支援について理解する。
【学習の内容】	なぜ保育所が子育て支援をするのか、保育所で行う子育て支援はどのようなものかを学ぶ。
【キーワード】	保育所保育指針、保護者支援
【学習の課題】	保育所における子育て支援の意義、必要とされる背景を考える。
【参考文献】	・大豆生田啓友『支え合い、育ち合いの子育て支援-保育所・幼稚園・ひろば型支援施設における子育て支援実践論』関東学院大学出版会、2006。 ・大豆生田啓友・太田光洋・森上史朗編『よくわかる子育て支援・家族援助論』ミネルヴァ書房、2008。 ・武田信子『保育者のための子育て支援ガイドブック』中央法規、2018。
8. テーマ	父親の子育て支援
【学習の目標】	父親を支える子育ての支援について理解する。
【学習の内容】	父親を取り巻く状況を理解したうえで、イクメン現象を読み解き、父親の子育てへの支援について考える。
【キーワード】	イクメン、ケアとしての子育て、ジェンダー規範
【学習の課題】	ジェンダーの視点から、近年のイクメン現象について考える。
【参考文献】	・目黒依子・矢澤澄子・岡本英雄編『揺らぐ男性のジェンダー意識-仕事・家族・介護』新曜社、2012。 ・石井クンツ昌子『「育メン」現象の社会学-育児・子育て参加への希望を叶えるために』ミネルヴァ書房、2013。 ・巽真理子『イクメンじゃない「父親の子育て」』晃洋書房、2018。 ・子育て支援プロジェクト研究会編『子育て支援の理論と実践』ミネルヴァ書房、2013。
9. テーマ	地域子育て支援における自治体の役割
【学習の目標】	地域子育て支援における自治体の役割について学ぶ。
【学習の内容】	地域子育て支援を進めていくうえでの自治体の役割について横浜市を事例に考える。
【キーワード】	協働、自治体の役割
【学習の課題】	地域子育て支援を進めていくうえで重要となる自治体と民間団体との協働について、特に自治体の役割に注目しながら考える。
【参考文献】	・松下啓一『市民協働の考え方・つくり方』萌書房、2009。 ・世古一穂『参加と協働のデザイン-NPO・行政・企業の役割を再考する』学芸出版社、2009。 ・横浜市立大学国際総合科学部ヨコハマ企業戦略コース著・村橋克彦監修『横浜まちづくり市民活動の歴史と現状-未来を展望して』学文社、2009。
10. テーマ	地域子育て支援の誕生と発展
【学習の目標】	地域子育て支援の誕生と展開過程について学ぶ。
【学習の内容】	地域子育て支援がどのように誕生しどのように展開してきたか、また、どのような取り組みを行ってきたかを学ぶ。
【キーワード】	子育てひろば、NPO、当事者性
【学習の課題】	地域子育て支援の取り組みにおける当事者性について考える。
【参考文献】	・大豆生田啓友『支え合い、育ち合いの子育て支援-保育所・幼稚園・ひろば型支援施設における子育て支援実践論』関東学院大学出版会、2006。 ・奥山千鶴子・大豆生田啓友・ビーのビーの編『親たちが立ち上げた！おやこの広場ビーのビーの』ミネルヴァ書房、2003。 ・坂本純子『二十歳になった子育てネットワーク-子育て支援を前進させた NPO の軌跡』幻冬舎、2019。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山縣文治監修・中谷奈津子編『住民主体の地域子育て支援-全国調査にみる「子育てネットワーク」』明石書店、2013.</li> <li>・橋本真紀『地域を基盤とした子育て支援の専門的機能』ミネルヴァ書房、2015.</li> </ul>
1 1 . テ ー マ	地域子育て支援の課題
【学習の目標】	地域子育て支援が発展する中で見えてきた新たな課題について学ぶ。
【学習の内容】	当事者たちの活動から始まった地域子育て支援が制度化されることによって生じたメリット・デメリットについて考える。
【キーワード】	地域子育て支援拠点事業、制度化
【学習の課題】	地域子育て支援の制度化による NPO のジレンマについて考える。
【参考文献】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆生田啓友『支え合い、育ち合いの子育て支援-保育所・幼稚園・ひろば型支援施設における子育て支援実践論』関東学院大学出版会、2006.</li> <li>・橋本真紀『地域を基盤とした子育て支援の専門的機能』ミネルヴァ書房、2015.</li> <li>・柏女霊峰監修・橋本真紀編『子ども・子育て支援新制度 利用者支援事業の手引き』第一法規、2015.</li> <li>・生協総合研究所編『生協総研レポート』89 (子育て支援の効果の見える化と可能性)、2019.</li> </ul>
1 2 . テ ー マ	子育て支援者の専門性
【学習の目標】	子育て支援者の専門性とは何かについて学ぶ。
【学習の内容】	当事者性が重視される子育て支援者の専門性とは何かを問い、支援者の身分保障について考える。
【キーワード】	専門性、当事者性、身分保障、ケアワーク
【学習の課題】	子育て支援を「労働」として捉える支援から、子育て支援者の専門性について考える。
【参考文献】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相馬直子・松木洋人編『子育て支援を労働として考える』勁草書房、2020.</li> <li>・生協総合研究所編『総研レポート』80 (エンパワメントにつながる子育て支援労働を考える)、2016.</li> </ul>
1 3 . テ ー マ	世界の子育て支援①カナダ、ニュージーランド
【学習の目標】	カナダ、ニュージーランドの子育て支援について学ぶ。
【学習の内容】	ノーバディーズ・パーフェクト、ドロップインが充実しているカナダの子育て支援や早くから幼保一元化を実現しているニュージーランドの子育て支援について理解する。
【キーワード】	ノーバディーズ・パーフェクト、ドロップイン、幼保一元化
【学習の課題】	カナダ、ニュージーランドの子育て支援のあり方を学び、日本と比較考察する。
【参考文献】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャニス・ウッドキャタノ著、三沢直子監修『完璧な親なんていない！-カナダ生まれの子育てテキスト』ひとなる書房、2002.</li> <li>・七木田敦・ジュディス ダンカン『「子育て先進国」ニュージーランドの保育-歴史と文化が紡ぐ家族支援と幼児教育』福村出版、2015.</li> <li>・松本園子・永田陽子・福川須美・堀口美智子『実践 家庭支援論 [第3版]』ななみ書房、2017.</li> <li>・大豆生田啓友・太田光洋・森上史朗編『よくわかる子育て支援・家族援助論』ミネルヴァ書房、2008.</li> </ul>
1 4 . テ ー マ	世界の子育て支援②スウェーデン、フィンランド
【学習の目標】	スウェーデン、フィンランドの子育て支援について学ぶ。
【学習の内容】	男女平等の福祉国家づくりを進めてきたスウェーデンの子育て支援、ネウボラを特徴とするフィンランドの子育て支援について理解する。
【キーワード】	男女平等、パパ・クォーター、ネウボラ、マタニティボックス
【学習の課題】	スウェーデン、フィンランドの子育て支援のあり方を学び、日本と比較考察する。
【参考文献】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横山美江・Haulinen Tuovi 編『フィンランドのネウボラに学ぶ母子保健のメソッド-子育て世代包括支援センターのこれから』医歯薬出版、2018.</li> <li>・松本園子・永田陽子・福川須美・堀口美智子『実践 家庭支援論 [第3版]』ななみ書房、2017.</li> <li>・咲間まり子編『多文化保育・教育論』みらい、2014.</li> </ul>
1 5 . テ ー マ	まとめ (子育て支援の今後の展望)
【学習の目標】	これまでの学習についてまとめる。
【学習の内容】	興味・関心のあるテーマを一つ選び、各自でまとめて発表する。
【学習の課題】	学習の内容を振り返るとともに、自ら課題を設定してまとめることで、より深く理解する。